

平成26年度 当初予算事業の概要説明書

(兼評価説明書)

1 頁

1. 事務事業の概要

□ 完了 ■ 評価対象 ■ 行計対象

事務事業名 (中事業)	18002 障害者地域活動支援センター等運営補助事業				
基本政策	01 とともに支え合い、笑顔輝くあたたかなまち				
政策	06 障害者が安心と尊厳を持って暮らせる社会				
施策	01 地域での自立生活の支援				
実施形態	補助・負担金				
事業期間	終期なし(恒常的)	平成18年度～			
要求区分	継続	予算区分	政策		
事業の実施を市に義務づける国の法令					
有 無	義務規定あり				
法令名 条 項	①障害者総合支援法第77条、地域生活支援事業実施要綱(国)、障害者小規模通所援護事業及び地域活動支援センター基礎的事業実施要綱(県)				
予算科目	01-030102-060100				
部 名	03 福祉生活部	課 名	01 福祉事務所		
課長名	高田 洋明	T E L	0795-22-3111	内線	262

2. 対象・目的・内容

事業概要	市内に在住する障害者が通所する地域活動支援センター及び小規模作業所に対して運営費の補助を行う。 補助の金額については、西脇市障害者地域活動支援センター事業補助金交付規程及び西脇市障害者小規模通所援護事業補助金交付規程に基づき積算する。
事業の対象 (誰・何を)	① 地域活動支援センター事業を実施するNPO法人等 ② 障害者小規模通所援護事業を実施する者
事業の目的 (どういう状態にするために)	①及び② 在宅の障害者等が通所し、障害の程度に応じた創作的活動又は生産活動等を行うことで、社会との交流促進を図るとともに日中における居場所を作る。
事業の内容 (どういう内容を行うのか)	① 地域活動支援センター事業(基礎的事業・機能強化事業)の類型ごとに定められた基準額と、対象経費の実支出額との比較して少ない額を補助金として交付する。 ② 兵庫県が定める障害者小規模通所援護事業実施要綱に基づき、補助対象経費について助成する。(杉の子ルーム) 地域生活支援事業 地域活動支援センター機能強化事業(必須)

3. 年度別事業費

(単位:千円)

	事業費	事業費の内訳						
		国庫支出金	県支出金	地方債	分担金負担金	使用料手数料	その他	一般財源
平成23年度決算額	31,590	2,357	5,957	0	0	0	0	23,276
平成24年度決算額	30,735	2,277	5,798	0	0	0	0	22,660
平成25年度決算額	22,733	937	3,825	0	0	0	0	17,971
平成26年度予算額	24,111	795	3,989	0	0	0	0	19,327

4. 総コストの概算

(単位:千円)

平成25年度のこの事業に従事している職員数		従事職員数	人件費(A)	平成25年度決算額(B)	総コスト (A) + (B)
一般職員	嘱託・臨時職員				
0.03	0.00	0.03	234	22,733	22,967
事業費の主な用途		補助金			

平成26年度 当初予算事業の概要説明書 (兼評価説明書)

5. 事業の実績・目標

活動 指標 ①	指標名	地域活動支援センター数				単位	箇所
	説明や数式	運営費を補助している地域活動支援センターの数					
	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標値	6	6	4	4		
	実績値	5	4				
	経費(千円)	26,949	19,231				
単位当たりのコスト	5,389.8	4,807.75					
活動 指標 ②	指標名	小規模作業所数				単位	箇所
	説明や数式	運営費を補助している小規模作業所の数					
	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標値	1	1	1	1		
	実績値	1	1				
	経費(千円)	3,786	3,736				
単位当たりのコスト	3,786	3,736					
成果 指標 ①	指標名	地域活動センターへの通所者数				単位	人
	説明や数式	通所することにより障害者の自立と生きがいを高め、社会参加を促進する。					
	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標値	40	40	28	30		
	実績値	39	25				
	経費(千円)	26,949	19,231				
単位当たりのコスト	691	769.24					
成果 指標 ②	指標名	小規模作業所への通所者数				単位	人
	説明や数式	通所することにより障害者の自立と生きがいを高め、社会参加を促進する。					
	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標値	10	10	5	5		
	実績値	5	5				
	経費(千円)	3,786	3,736				
単位当たりのコスト	757.2	747.2					
実績・成果等の説明	<p>在宅障害者がセンターに通所し、障害程度に応じた創作的活動又は生産活動等を行うことで、社会との交流促進を図るとともに日中活動の場を提供できている。</p> <p>また、センター授産製品を市内販売所や催し会場で販売することで、地域との交流や通所者の活動意欲の向上を図られ、障害者に対する理解が深められている。</p> <p>事業の成果は得られている。</p>						

6. 評価

1 次 評 価	評価ポイント	事業の優先度(緊急性)	4	事業の必要性	1	実施主体の妥当性	4
		直接のサービスの相手方	2	受益者負担の適切さ	5	市民ニーズの把握	1
	事業の総合評価	継続実施					
説明	<p>地域活動支援センターは、障害者総合支援法に基づき、通所の障害者らに対し創作的活動又は生産活動の機会の提供などを行うこととされている。</p> <p>補助金は、センターの活動に対するものである。よって目的を果たすため継続実施していく。</p> <p>小規模作業所に対しては、地域活動支援センターや福祉サービス事業所(法に基づくサービス)への移行を依頼していく必要がある。</p>						
2 次 評 価	評価ポイント	事業の優先度(緊急性)	3	事業の必要性	1	実施主体の妥当性	4
		直接のサービスの相手方	2	受益者負担の適切さ	5	市民ニーズの把握	3
	事業の総合評価	改善・見直し					
説明	<p>地域活動支援センターについては、障害者総合支援法に基づき義務付けられている事業であり、障害者の社会交流促進を図るとともに日中活動の場を提供するためにも継続して実施することが適当であると思われる。しかし、小規模作業所として事業を実施している施設に関しては、県の支援制度の打切りも勘案し、地域活動支援センター等への移行について検討してもらうよう働きかけるなど、改善・見直しの必要がある。</p>						